

あいち重点政策ファイル360プラス1 ロードマップの2023年度～2025年度の主な取組 《概要版》

※ 項目の文末に（ ）書きで付記した年度は、各取組の実施時期を示します。なお、2022年度以前からの継続事業については、年度の記載を省略しています。

新型コロナウイルス感染症を克服！！

1 県民の生命と健康を守ることを最優先に、社会経済活動との両立を図る新型コロナウイルス感染症対策を推進

- ・ 新型コロナウイルスの感染状況に応じた医療提供・検査体制の確保。
- ・ ワクチン接種体制の整備。
- ・ 将来の新興感染症感染拡大に備えた体制確保。
- ・ 政府の経済対策に呼応、新型コロナウイルス感染症や物価高騰等の影響を受ける県民生活、事業活動への支援。

【ワクチン接種体制整備】

- ・ 副反応に関する専門相談窓口の設置や新型コロナワクチン副反応等見舞金の支給

【罹患後症状への対応】

- ・ 罹患後症状（後遺症）に関する相談（2024、2025）や実態調査（2024）、罹患後症状に関する研修会（2025）の実施

【新興感染症感染拡大に備えた体制整備】

- ・ 次期愛知県感染症予防計画の策定（2023）
- ・ 新型インフルエンザ等感染症行動計画の改正（2025）
- ・ 医療機関が使用する個人防護具の段階的備蓄（2025）

【県民生活・事業活動支援】

- ・ SNS等を活用した相談体制の確保
- ・ ひとり親家庭を対象とした住居費支援
- ・ 中小企業への融資制度による資金繰り支援（米国関税措置を受け、2025年度融資要件の緩和等を実施）
- ・ 市町村が実施するプレミアム商品券発行事業の支援
- ・ 物価高騰の影響を受ける医療機関等に対する支援
- ・ 米国関税の影響を受けた事業者への経営技術専門家派遣に係る事業者負担分の免除（2025）
- ・ 賃上げを実施する医療機関に対する生産性向上・職場環境改善に向けた取組への助成（2025）

「ジブリパークのある愛知」の魅力発信！

- 2 ☆2005年愛知万博の理念「自然の叡智」～人、いきもの、地球に対する「愛」を継承し、ジブリ作品の世界観を表現した唯一無二の公園施設として、国内外に魅力を発信。

- ☆国内外で愛されてきたスタジオジブリ作品を、将来にわたって伝え残していく。
- ☆2023 年度 2 期オープン（もののけの里、魔女の谷）、愛・地球博記念公園の更なる魅力向上。開業効果波及。
- ☆万博の理念と成果を未来に継承する万博 20 周年記念事業の実施。

- ・ジブリパークの整備推進（「もののけの里」は 2023 年 11 月 1 日、「魔女の谷」は 2024 年 3 月 16 日に開園）（2023）
- ・愛・地球博記念公園の整備（魔女の谷のみえる展望台（2023）、映画「猫の恩返し」の猫王の城をモチーフにした「猫の城遊具」（2023）、「ネコバス」をイメージした車両の運行（2023、2024、2025）、駐車場（2023、2024、2025）など）
- ・駅や空港等においてジブリパークをイメージした歓迎装飾の実施などによるジブリパークへ旅行者を迎え入れる雰囲気づくり（2024、2025）
- ・来園者向け県内観光プログラムの造成・販売促進（2023、2024、2025）、「ジブリパークのある愛知」の PR プロモーションの実施など、ジブリパークを起点とする県内周遊観光の促進
- ・愛知万博 20 周年記念事業の実施
（期間：2025 年 3 月 25 日～9 月 25 日、会場：愛・地球博記念公園）

1. 「リニア大交流圏」の形成

～首都圏・中京圏で 5 千万人のメガリージョンを！

- 4 **新東名高速道路の 6 車線化、三遠南信自動車道、名古屋環状 2 号線、名豊道路、西知多道路、名岐道路、浜松湖西豊橋道路、一宮西港道路、名古屋三河道路、名浜道路等、高速道路網等の整備促進**
 - ・新東名高速道路の 6 車線化、三遠南信自動車道の未開通区間、名古屋環状 2 号線の早期整備、名豊道路の早期 4 車線化に向けた国等への要望
 - ・西知多道路の調査中区間の早期事業化、事業化区間の早期整備に向けた国への要望、県施行区間の整備推進
 - ・名岐道路の整備促進や、浜松湖西豊橋道路の早期実現、一宮西港道路、名古屋三河道路の具体化に向けた国への要望
 - ・県道幸田幡豆線の整備による名浜道路の整備推進
- 7 **名古屋港、三河港、衣浦港の機能強化及び「愛知県港湾物流ビジョン」に基づく、三港連携による国際競争力強化**
 - 【名古屋港】**
 - ・飛島ふ頭、金城ふ頭の岸壁等、浚渫土砂の新たな処分場整備など、「国際産業戦略港湾」として必要な機能の強化
 - 【三河港】**
 - ・神野地区の北防波堤整備や岸壁改良、蒲郡地区ふ頭用地の拡張整備、田原地区の耐震強化岸壁整備など、港湾施設の整備
 - ・三河港港湾計画改訂に向けた検討、三河港長期構想の公表（2025）
 - 【衣浦港】**
 - ・中央ふ頭西地区 6 号岸壁の改良、外港地区の中央航路の拡幅や高潮防波堤の改良、武豊ふ頭地区 - 富貴地区間の臨港道路の整備など、港湾施設の整備

【名古屋港・三河港・衣浦港】

- ・「愛知県港湾物流ビジョン」「伊勢湾の港湾ビジョン」に基づく、モノづくり産業を支える港湾物流機能の強化に向けた連携の推進

8 名古屋港、三河港、衣浦港のカーボンニュートラルポート形成に向けた取組の推進
【名古屋港・三河港・衣浦港】

- ・港湾脱炭素化推進計画の策定（2023）、計画に基づく取組の推進（2024、2025）

14 リニア中央新幹線の整備促進や名古屋駅からの鉄道による 40 分交通圏の拡大、名古屋駅と豊田市駅間の速達化、中部国際空港アクセスの向上

- ・リニア中央新幹線建設促進期成同盟会（全国・県）による早期全線整備に向けた国等への働きかけ及び広報啓発
- ・鉄道ネットワークの充実・強化に関する方策案の具体化検討の実施等の取組の推進
- ・名鉄三河線の複線化等による豊田市方面への速達化に向けた関係者との協議・調整

16 中部国際空港の戦略的整備～第二滑走路（完全 24 時間化）（2027 年度目途）、LCC ターミナル、国際展示場、フライト・オブ・ドリームズ、水素ステーション、FC フォークリフト等による活性化、エアポートセールスの戦略的实施、航空ネットワークの充実、クルーズ船誘致活動の推進等～

- ・「中部国際空港の将来構想」の早期実現に向けた国への働きかけ、空港会社への財政的支援など、第二滑走路の整備を始めとする中部国際空港の機能強化
- ・LCC を含む重点路線の利用促進によるアウトバウンドの促進
- ・コンセッション方式による愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」の管理・運営
- ・水素エネルギー社会形成研究会等を中心とした FC フォークリフト等の導入促進などによる中部国際空港の活性化

17 あいちデジタルアイランドプロジェクトによる 5G デジタル技術の実装支援等、中部国際空港島周辺地域のスーパーシティ化の推進

- ・5G 等デジタル技術を活用した実証実験の実施や 5G 等デジタル技術導入のための伴走支援の実施（2024、2025）など、「あいちデジタルアイランドプロジェクト」の推進によるデジタル技術の実装支援

22 休み方改革を愛知から～ワーク・ライフ・バランスの充実、すべての産業の生産性向上、日本経済の活性化を目指す国民運動を愛知から

- ・あいちウィーク（11 月 21 日～27 日）におけるイベントの開催や公の施設の使用料等の減免など、あいち県民の日・あいちウィークを契機とした「休み方改革」の推進（2023、2024、2025）
- ・年次有給休暇の取得及び多様な特別休暇の導入を積極的に推進している中小企業等を奨励する「休み方改革マイスター企業認定制度」の創設などによる、休暇を取得しやすい職場環境づくりの促進（2023、2024、2025）
- ・市町村立学校及び県立学校での「ラーケーションの日」の創設・実施（2023、2024、2025）、「ラーケーションの日」実施に係る教員負担軽減のためのモデル事業の実施や校務支援員の配置（2023、2024、2025）、「県民の日学校ホリデー」の創設・実施（2023、2024、2025）など、家族と子どもが一緒に過ごせる仕組みづくりの促進
- ・混雑を回避した旅行を促す「あいちスキ旅キャンペーン」（2023、2024、2025）

- や、あいちの魅力発見ツアー（2023、2024）、あいちの魅力発見隊（2025）の実施、平日限定で美術館・博物館等に入館できる「あいち・なごや周遊観光パスポート」の発売（2024、2025）、観光関連産業における生産性向上への支援（2024、2025）など、平日や閑散期への観光需要のシフトを促進
- ・愛知県「休み方改革」イニシアチブ賛同企業・団体を集めながら、経済界・労働界・教育界とともに地域が一体となった「休み方改革」を推進（2023、2024、2025）
- ・「休み方改革」を国民運動として展開するため、全国知事会のプロジェクトチームの活動を推進（2023、2024、2025）、提言・先行事例を取りまとめ国・経済団体等へ要請（2023）
- ・県庁職員に対する「勤務間インターバル制度」の導入（2025）

2. 「産業首都あいち」 ～国際イノベーション都市へ

- 23 愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」の最大限の活用、国際的な MICE の誘致、官民連携による新たな産業展示会の創出等、国際観光都市を目指した取組の推進**
- ・コンセッション方式による愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」の管理・運営
 - ・新たな産業展示会「AXIA EXPO」（2024、2025）や、県内の自然観光資源を PR する「DESTINATION AICHI」（2023、2024、2025）の開催
 - ・「愛知・名古屋 MICE 推進協議会」による MICE 誘致の取組の推進や「“Heart” of JAPAN ～ Technology & Tradition」を掲げた海外 MICE プロモーションの展開など、地域一丸となった MICE 誘致
 - ・第 60 回アジア開発銀行年次総会（2027 年開催）の誘致（2024）、愛知・名古屋開催の正式決定及び支援実行委員会の設立（2025）
- 25 Aichi-Startup 戦略に基づく、スタートアップ・エコシステムの形成**
- ・国内最大のスタートアップ支援拠点 STATION Ai の整備（2024 年 10 月オープン）
 - ・PRE-STATION Ai による STATION Ai 開業までの間の切れ目のない支援
 - ・スタートアップの創出・育成、オープンイノベーションの促進
 - ・海外エコシステムとの連携
 - ・STATION Ai Central Japan 1 号ファンド等による資金調達の支援、更なるファンドやベンチャーキャピタルの誘引など資金調達支援の推進
 - ・国内最大のスタートアップ支援拠点 STATION Ai の整備（2024 年 10 月オープン）
 - ・グローバルなスタートアップ・エコシステム形成を推進するためのイベント「TechGALA Japan」の開催（2024、2025）
 - ・県内各地域における STATION Ai パートナー拠点設立の促進や連携を支援する統括マネージャーの配置
 - ・起業を目指す方及び創業間もないスタートアップを対象としたコンテストの開催（2024、2025）、副業・兼業の起業家人材の発掘・育成、大学生を対象とした起業家人材育成プログラムの実施、ユニコーン企業創出に向けた支援、小中高生を対象とした起業家精神育成プログラムの実施、スタートアップ向け人材マッチングの実施、愛知県の産業特性に特化したアクセラレータープログラムの展開、STATION Ai を核とするエコシステムのダイバーシティ推進のためのプログラムの

実施（2025）、スタートアップ等とのオープンイノベーションの促進を図る愛知県のモノづくり中小・中堅企業の新規事業開発への支援（2025）、アジア最大級のスタートアップカンファレンス「Sushi Tech Tokyo」への出展（2024、2025）など、スタートアップの創出・育成支援

- ・米国のテキサス大学オースティン校・カリフォルニア大学バークレー校、シンガポール国立大学、STATION Fを始めとしたフランスの支援機関、中国の清華大学・上海交通大学・浙江大学、イスラエルのイノベーション庁・Start-Up Nation Central、ドイツのNRW州、韓国の慶尚南道、ポルトガルの経済省・スタートアップポルトガル、スペインのマドリード州など、海外の大学・スタートアップ支援機関との連携
- ・STATION Ai 株式会社による STATION Ai Central Japan 1 号ファンドの運営、県内スタートアップ創出のための起業支援金支給など、スタートアップの資金調達支援

27 革新事業創造戦略によるオープンイノベーション環境の創出～民間からの事業提案を受け付けるプラットフォーム「A-idea」を運営、優れた提案を選定して事業化を支援

- ・革新事業創造提案プラットフォーム「A-IDEA」の運用、市町村を対象とした研修・ワークショップ等の開催（2025）、革新事業創造事業費補助金による事業化支援（2023、2024、2025）、官民共同プロジェクトの創出に向けた検討の実施など、革新事業創造戦略の推進
- ・社会課題・地域課題の解決に取り組む民間企業におけるソーシャルイノベーションを創出する人材の育成や社会課題・地域課題の解決に取り組む大学のゼミナール・研究室への活動支援、革新事業創造戦略に基づき採択された市町村等との官民連携プロジェクトに対する助成などを目的として「ソーシャルイノベーション創出基金」を設置（2025）
- ・環境分野の課題解決に向けた革新的な技術・アイデアの募集（2024、2025）や、採択した提案に対する事業化に向けた伴走支援（2024、2025）、産学官金の連携の下、愛知発の環境イノベーションの創出・実装を目指す「あいち環境イノベーションコンソーシアム」の設立（2024）など、あいち環境イノベーションプロジェクトの推進
- ・「空と道がつながる愛知モデル 2030」の実現に向け提案者を含む民間事業者と連携協定の締結（2023）、物流用ドローンの社会実装に向けた実現可能性調査（2024、2025）や空飛ぶクルマの事業適地及び離着陸場の整備に向けた調査等の実施（2024、2025）、大規模災害発生時及び平時のビジネスにおけるドローンの活用可能性の検討（2024）や実証実験の実施（2025）、ドローンメーカーと製造業を対象とした共同研究プログラムの実施（2025）など、あいちモビリティイノベーションプロジェクトの推進
- ・スポーツ産業をささえる人材育成（2024、2025）や、スポーツ団体の課題解決に向けた実証支援（2024、2025）など、あいちスポーツイノベーションプロジェクトの推進及びプロジェクトの推進母体である「あいちスポーツイノベーションコンソーシアム AiSIA」の設立（2024）

28 農業総合試験場と大学、スタートアップが連携して、イノベーションを創出し、農業の課題解決を目指す「あいち農業イノベーションプロジェクト」の推進

- ・スタートアップ等との共同研究の実施、農業総合試験場を拠点とする産学官連携

の体制強化、生産ほ場を活用した新技術の開発・導入（2024、2025）など、あいち農業イノベーションプロジェクトの推進

31 外資系企業の誘致、国際経済交流の促進、観光誘客促進

- ・フランス、アジア向け観光プロモーションの実施、「愛知『発酵食文化』振興協議会」による愛知の「発酵食文化」の振興及び国内外への魅力発信（2024、2025）などによる訪日外国人誘客の促進

33 「あいち自動車産業アクションプラン」（2021～2025 年度）による世界一の集積・自動車産業のイノベーションの加速への支援、CASE、MaaS への対応

- ・中小・中堅自動車サプライヤーを対象としたハンズオンによる新事業開発の支援（米国関税措置を受け 2025 年度事業を拡充）や、展示・商談会イベントの開催（2024、2025）、米国関税の影響を受ける又は受ける見込みのある中小・中堅自動車サプライヤーの販路拡大を支援する大規模展示会出展支援補助（2025）などによる自動車産業イノベーションの推進

34 豊田・岡崎地区研究開発施設へのアクセス道路、西尾次世代産業地区用地造成事業を始め次世代自動車産業に必要な拠点の整備促進

- ・国道 301 号など、豊田・岡崎地区研究開発施設へのアクセス道路の整備推進
- ・西尾次世代産業地区の整備（2023 年度完了）

36 県内各地域における自動運転技術の社会実装への挑戦

- ・国家戦略特区における自動走行等の近未来技術実証のための制度整備に向けた継続提案の実施
- ・ショーケースとなる中部国際空港島及び周辺地域や、集客施設である愛・地球博記念公園における実証実験の実施
- ・高速バスの自動運転化を目指す実証実験や、愛・地球博記念公園における園内バスの自動運転化を見据えた運行実証及び環境整備の実施（2025）
- ・名古屋駅付近と STATION Ai 間での自動運転の定期運行（2024）に栄エリアを追加した名古屋市中心部 3 地点間での定期運行（2025）

39 航空宇宙産業の持続的発展に向けた支援（人材育成の推進、サプライチェーン強化、航空機装備品の国産化に向けた支援推進、国際的展示会・商談会出展支援）

- ・販路開拓支援、人材育成支援、人材確保支援、新規受注獲得に向けた集中的なハンズオン支援、航空機部品製造認証取得・運用等支援など、地域の行政、支援機関、業界団体及び大学で構成する「あいち・なごやエアロスペースコンソーシアム」における総合的な航空宇宙産業の支援
- ・航空宇宙分野における新規設備投資に対する補助制度の運用

43 産業用ロボットに加えてサービスロボットの社会実装の促進（医療、介護・リハビリ、ドローン等）

- ・「あいちサービスロボット実用化支援センター」の運営、介護リハビリ支援ロボットの導入・活用支援など、介護・生活支援等のサービスロボットの開発と活用の促進
- ・実証実験場の提供、ドローンエンジニア人材養成のためのカリキュラム等の作成（2024）、作成したカリキュラム等の試行運用（2025）など、無人飛行ロボット

（ドローン）の開発と活用の促進

- ・実証実験・デモンストレーションの実施など、サービスロボットの社会実装に向けた支援
- ・愛知県立大学の次世代ロボット研究所等におけるロボット、AI、IoT等の活用に関する技術相談・共同研究等の実施
- ・ロボット未活用領域におけるロボット導入前の事前検証等に対する補助制度の運用（2024、2025）

44 高校生ロボットシステムインテグレーション競技会の開催など、ワールドロボットサミット 2020、ロボカップアジアパシフィック 2021 あいちの大会レガシーの継承

- ・高校生ロボットシステムインテグレーション競技会の開催
- ・「World Robot Summit 2025 AICHI」の開催準備（2024、2025）（2025 年 12 月開催予定）

47 ICT 等の先進技術を活用するスマートシティ化に向けた市町村の取組への支援

- ・スタートアップとのマッチングやガバメントピッチイベントの開催、実証実験への支援など、スタートアップを活用した市町村のまちづくり支援（2025）

51 あいちデジタルヘルスプロジェクトの推進

- ・プロジェクトの推進母体となる「あいちデジタルヘルスコンソーシアム」の設立や基本計画策定（2023）
- ・「フレイルへの進行予防」、「生きがいづくり」、「地域居住・生活支援」を柱とする産学官金連携による先行事業（7 テーマ）の実施（2024、2025）
- ・高齢者等が抱える課題の解決に向けた新サービスの実証事業の推進（2024、2025）
- ・住民にサービス・ソリューションを提供するためのポータルサイト及びデータ連携基盤の整備に向けた調査（2024）・構築（2025）

53 再生可能エネルギー（太陽光・風力・小水力・バイオマス等）に関する研究・技術開発・実装促進

- ・「愛知県新エネルギー産業協議会」におけるフォーラム等の開催、「産業競争力強化減税基金」による補助制度の運用など、新エネルギー関連分野の研究開発・実証実験の支援
- ・産学行政の連携による「低炭素水素サプライチェーン」の構築・拡大の推進、「低炭素水素認証制度」の中部圏への拡大、低炭素水素モデルタウン事業の実施（2024、2025）、低炭素水素サプライチェーンの構築に取り組む企業への支援（2025）など、低炭素水素サプライチェーンの事業化の推進
- ・下水汚泥の消化によるバイオガス発電、炭化処理による火力発電所での石炭との混焼利用、焼却時の廃熱利用など、下水汚泥のエネルギー利用の推進
- ・水位差を利用した位置エネルギーの有効活用、再生可能エネルギー発電設備（太陽光発電設備、小水力発電設備）の設置など、豊橋浄水場再整備によるカーボンニュートラルの推進
- ・浮体式洋上風力を国際競争力のある価格で商用化する技術の確立に向けた実証事業などの推進（2024、2025）、導入に向けた検討・調査（2025）

54 あいちカーボンニュートラル戦略会議による民間アイデアの募集選定、優れたアイデアを具体化・実践（矢作川カーボンニュートラルプロジェクト、「街区全体で統一的に木造・木質化を図るまちづくり」プロジェクト）

- ・あいちカーボンニュートラル戦略会議の開催や企業・団体からの事業・企画アイデアの募集
- ・熟度の高まった施策の順次事業化（2023、2024）、シンポジウムの開催（2025）、民間の技術開発への支援（2024、2025）など、流域の関係者が一体となってカーボンニュートラルの実現を目指す「矢作川・豊川カーボンニュートラルプロジェクト」の推進
- ・木造・木質化促進に向けた技術的助言（2024、2025）や県産木材を活用する木造建築物の設計費支援など、「街区全体で統一的に木造・木質化を図るまちづくり」プロジェクトの推進
- ・「あいちカーボンリサイクル推進協議会」の設置・運営（2024、2025）や廃棄物収集・CO2回収スキーム構築の支援（2024、2025）、カーボンリサイクルコンクリートの採用に向けた仕様等の基準化検討・試験製造（2025）などによる「カーボンリサイクルプロジェクト」の推進
- ・「あいち物流脱炭素化推進会議」の設置・運営や幅広く横展開するためのモデルスキームの構築、県内の荷主、運輸事業者等のFCトラックの導入需要の掘り起こしなどによる「物流脱炭素化プロジェクト」の推進（2024、2025）
- ・「あいち地産地消 SAF サプライチェーン推進協議会」の設置・開催や、廃食油等の回収スキーム及び製造・利用・供給スキームの構築などによる「地産地消 SAF サプライチェーン構築プロジェクト」の推進（2025）
- ・「あいちペロブスカイト太陽電池推進協議会」の設置・開催や、実証フィールドの提供及びモデルケースの確立などによる「ペロブスカイト太陽電池普及拡大プロジェクト」の推進（2025）

56 知の拠点あいちを拠点とした産学行政連携による研究開発・製品開発の一層の推進

- ・知の拠点あいち重点研究プロジェクト（Ⅲ期）の研究成果の普及
- ・知の拠点あいち重点研究プロジェクト（Ⅳ期）の実施、研究成果の普及（2025）
- ・知の拠点あいち重点研究プロジェクト（Ⅴ期）の実施（2025）
- ・「あいち次世代バッテリー推進コンソーシアム」の設立（2024）や、あいちシンクロトロン光センターへの電池開発用ビームラインの整備（2025）など、次世代バッテリーに関する「研究・実証」、「人材育成」、「研究・実証・製造拠点等集積」に向けた取組の推進

59 産業空洞化対策減税基金に基づく企業立地、研究開発等への支援

- ・「産業競争力強化減税基金」を原資とした補助制度による、企業立地・研究開発・実証実験・設備投資の支援
- ・「新あいち創造研究開発補助金」を活用した研究開発・実証実験の成果の発信や販路・取引拡大を促進する「新あいち創造研究開発展」の開催（2023、2024、2025）

62 愛知県中小企業振興基本条例に基づく総合的な中小・小規模企業者の支援

- ・アンケート調査や企業訪問による中小企業のニーズの把握や関係機関との連携など、愛知県中小企業振興基本条例に基づく中小企業支援の実施

- ・繊維・窯業産地の中小企業への専門家派遣及び当該企業で働く魅力を発信するツールの作成など、若者人材確保の支援
- ・地元の生地を PR するファッションイベントの開催準備（2024、2025）（2025 年度冬開催予定）
- ・地域資源を活用した新製品（商品）の開発、販路拡大等の新事業展開の支援など、あいち中小企業応援ファンドによる中小・小規模企業の支援
- ・経営革新計画の策定促進や新サービス・新製品の開発及び販路拡大の支援など、中小・小規模企業者の経営革新の促進
- ・商工会等指導施設の老朽化改修に対する支援の実施（2024、2025）

67 商店街の集客力向上・販売力向上・体質強化等の支援、商店街情報の発信強化

- ・「あいち商店街活性化プラン 2025」の推進
- ・商店街と大学・地域住民等との連携促進、商店街の担い手育成（2025）、商店街の未来を拓くプロジェクトによる模範的商店街の重点支援、げんき商店街推進事業費補助金と商業振興事業費補助金による商店街活性化の取組支援、あいち商店街まつり 2024 の開催支援（2024）、なごや商業まつりの開催支援（2025）など、商店街の活性化の促進

3. 農林水産業の振興

～中部最大の農業県・愛知の力をパワーアップ

77 農起業支援ステーションや農起業支援センターにおける新規参入希望者への支援、経営継承支援など、農林水産業を支える多様な人材の確保・育成、産地での受け入れ体制の構築支援

- ・農起業支援ステーション等における就農希望者・企業への相談対応や生産技術指導の支援など、新たな担い手の確保・育成
- ・オンラインによる就業支援プラットフォームの整備など、新規就業者への支援体制の強化（2025）
- ・愛知県林業労働力確保支援センター等と連携した就業相談や研修の実施など、林業の担い手確保と経営体強化
- ・漁業就業者確保育成センター等と連携した就業相談やリース方式による漁船導入支援など、水産業の担い手確保と経営体強化

83 温室効果ガスの排出削減等の環境との調和や、気候変動等の環境変化に対応できる持続可能な農業の推進

- ・環境負荷の低減に取り組む農林漁業者が作成する環境負荷低減事業活動実施計画の認定、有機農業者向けの公開講座開設等による有機農業への転換支援と産地づくりの推進（2025）など、「みどりの食料システム法」に基づく基本計画の推進
- ・畜産からのメタンの発生を抑制する飼料を用いた実証事業の実施（2024、2025）

87 名古屋コーチン、抹茶、小麦「きぬあかり」などあいちの農林水産物のブランド力強化と需要拡大、オリジナル品種の更なるブランド化

- ・消費拡大イベント等による県産農林水産物（園芸作物、畜産物、水産物）の魅力発信と需要創出、県内事業者に対する商談会への出展支援など、PR 活動の推進

- ・県が開発した「夕焼け姫（カンキツ）」、「あいみずき（日本なし）」、「愛きらり（いちご）」、「愛ひとつぶ（ブランド米）」、「葵うなぎ」のPR強化
- ・みかわ牛のブランド力向上支援の強化

88 日本一の生産額を誇る花きの需要拡大など花の王国あいちの推進、フラワーバレンタインなど県内消費、首都圏消費の拡大策の展開

- ・「あいち花マルシェ」の開催やフラワーバレンタインプロモーションの実施など、イベントによるPRの実施
- ・「今月のあいちの花」の展示やスポーツシーン等での花き活用推進、「食と花の街道」の認定など、花いっぱい県民運動の推進
- ・「GREEN×EXPO 2027（横浜国際園芸博覧会）」への出展準備（2025）

89 SDGsの実現に貢献する地産地消の推進、新たな流通体制の構築

- ・地産地消の理解を促進するデジタルプロモーションや県産品の購入を促進するためのデジタルスタンプラリーの実施など、地産地消の推進
- ・「愛知を食べる学校給食の日」の実施や「わが家の愛であ朝ごはんコンテスト」の開催など、学校給食等における地産地消の推進
- ・自走継続のための状況確認（2024、2025）など、農産物の地域内流通網の構築

90 「伐る・使う→植える→育てる」循環型林業の推進、木材加工施設等の整備による製材品の安定供給体制強化と、あいち認証材の利用促進に向けた取組の充実

- ・循環型林業に資する取組への支援、林業・木材産業の生産基盤強化による流通・加工体制の強化
- ・「木材利用の促進に関する基本計画」の推進、学生向けの木造建築の設計コンペの実施（2024、2025）、あいち木造・木質化サポートセンターによる相談対応の実施（2023、2024、2025）、県産木材を利用したPR効果の高い民間施設等の支援、豊田加茂総合庁舎（2026年度供用開始）におけるPRコーナーの設置（2025）、東三河総合庁舎の木質化（2025）など、「あいち認証材」の利用促進

96 森林による温室効果ガスの吸収拡大に向けたJ-クレジット制度の活用促進

- ・J-クレジット制度活用に向けた調査の実施（2023）及びクレジットの創出・販売（2024、2025）

4. 「すべての人が輝くあいち」

～子ども、若者、女性、高齢者、障害のある人など、全ての人が活躍

102 義務教育段階における少人数学級の拡充・少人数指導等の継続による確かな学力の育成、小学校高学年における教科担任制の推進、英語専科教員の配置

- ・小学校第1～4学年及び中学校第1学年における35人学級編制の継続実施
- ・県独自に小学校第5学年に35人学級編制を拡充（2023）
- ・県独自に小学校第6学年に35人学級編制を拡充（2024）
- ・小学校高学年（5・6年生）における教科担任制の推進、教科担任制の小学校4年生への拡大（2025）
- ・小学校における英語専科教員の配置

104 高等学校将来ビジョン、県立高等学校再編将来構想、定時制・通信制教育アップデートプランに基づく魅力ある高等学校づくり

- ・国際探究科の新設（刈谷北（2023）、津島（2025））、商業高校のリニューアル（中川青和、春日井泉、ビジネス探究プログラム導入（2023））、昼間定時制課程総合学科の新設（城北つばさ（2023））、観光ビジネスコースの設置（足助（2023））、稲沢緑風館高校の開校（2023）、新たなタイプの学校設置（犬山総合、御津あおば（2023））、未来探究科の新設（惟信（2025））、地域探究科の新設（美和（2025））、津島北翔高校の開校（2025）など、「高等学校将来ビジョン」「県立高等学校再編将来構想」に基づく県立高校の魅力化・特色化と再編の推進
- ・フレキシブルハイスクールの設置（佐屋、武豊、豊野、御津あおば（2025））や、夜間中学の開校（とよはし中学校（2025））など、「愛知県 定時制・通信制教育アップデートプラン」の推進

105 探究的学びを重視する学校や生徒それぞれの能力や可能性を伸ばすことができる学校など、愛知らしい併設型中高一貫校の設置

- ・「中高一貫教育具体化検討部会」の開催（2023、2024）、導入校ごとのワーキンググループの実施（2023、2024）、導入校説明会の開催（2023、2024）、第一次導入校の開校（明和、津島、半田、刈谷（2025））など、中高一貫教育制度の導入推進

117 県立学校における教育環境の改善

- ・県立学校施設の長寿命化
- ・トイレ環境の改善（県立学校の普通教室棟・管理棟の全トイレの湿式床の乾式化、便器の洋式化）
- ・ICT化の進展に対応した教育環境の充実
- ・特別支援学校体育館等の空調拡充
- ・県立学校施設の長寿命化やトイレ環境の改善の実施
- ・明和高校、春日井高校の校舎改築
- ・体育館の屋上防水の実施（2024、2025）
- ・全ての高等学校における普通教室等の空調設備の公費による運用
- ・高等学校体育館等への空調の整備（2024、2025）
- ・特別支援学校体育館等への空調の整備（2023、2024、2025）
- ・特別支援学校の幼児児童生徒用インターネット回線の増強（2023）
- ・全ての県立学校のネットワーク更新に合わせた回線の見直し（2024）、全ての県立学校の児童生徒用インターネット回線の増強（2025）
- ・GIGAスクール運営支援センターによる県立学校のICT環境の維持、複数のICTサポート窓口の一本化（2025）
- ・ICTを活用した文理横断的・探究的な学びを強化するためのデジタル人材育成拠点（DXハイスクール）の整備（2024、2025）
- ・療養中の生徒及び特別支援学校の訪問教育用に、児童生徒用タブレット端末をインターネットに接続するためのモバイルルーターの整備

120 公立中学校の休日の部活動（運動部・文化部）の円滑な地域移行の推進、県立高校部活動地域移行の検討

- ・休日の部活動の地域移行・地域連携に向け、コーディネーターの配置や運営団

- ・体・実施主体の整備充実等に関する実証事業を実施
- ・「あいち地域クラブ活動人材バンク」の開設（2024）

127 働く場における女性の定着と活躍の場の拡大～あいち女性輝きカンパニーの認証などを通じた、女性の活躍に向けた企業等の意識改革の促進や取組への支援（次期あいち男女共同参画プランの策定（2025 年度）、女性の活躍促進コーディネーターによる企業支援、あいち女性の活躍プロモーションリーダーによる中小企業支援、あいち女性の活躍促進会議の開催、女性の活躍促進宣言の募集、あいち女性の活躍促進サミットの開催など）

- ・「あいち男女共同参画プラン 2025」に基づく施策の推進、次期プランの策定（2025）
- ・あいち女性輝きカンパニーの認証、あいち女性の活躍促進会議、女性の活躍促進サミットの開催、女性の活躍促進宣言の募集、中小企業の女性活躍の推進に向けたセミナー・相談会の実施など、あいち女性の活躍促進プロジェクトの推進

135 産後パパ育休を始め男性の育児休暇取得の推奨・促進など、男性の育児参加の促進（イクメン・イクボスの普及拡大）

- ・男性が育児休業を取得しやすい職場環境づくりに取り組む中小企業等へのアドバイザー派遣、男性従業員が育児休業を取得した中小企業等に対する奨励金の支給（2023、2024、2025）など、男性の育児休業の取得促進
- ・男性の育児参画を始め仕事と子育ての両立支援に取り組む企業の知事表彰、あいち働くパパ応援サイトの運営など、育児等に積極的な男性や部下の仕事と育児等との両立を応援する上司の普及拡大
- ・子育てハンドブック「お父さんダイスキ」アプリケーションの配信による育児等に積極的な男性の普及拡大
- ・県庁職員に対する「フレックスタイム制度」、「勤務間インターバル制度」の導入（2025）

138 「日本一子育てしやすいあいち」の実現をめざした、総合的な子育て支援施策の推進

- ・ワーク・ライフ・バランスの推進、多様な保育サービス、児童の放課後対策の拡充、子どもの貧困・ひとり親家庭の支援など、「あいち はぐみんプラン 2020-2024」に基づく施策の推進
- ・「愛知県こども計画 はぐみんプラン 2029」の策定（2024）
- ・保育士の配置を基準よりも充実する市町村への助成（2025）、第二子以降の3歳未満児の保育料を無料化又は軽減する市町村への助成（2025）、男性の育児休業取得を促進する中小企業等に対する奨励金の支給（2023、2024、2025）、低所得世帯への子育て支援の拡充（2023、2024、2025）、SNSを活用した相談支援の実施など様々な問題を抱える妊婦等への支援、婚活イベントの開催など結婚を希望する男女の出会いサポート（2023、2024、2025）など、少子化対策の推進
- ・高齢者、障害者、子どもの各分野を超えて、包括的に相談支援や地域づくり等の重層的支援を行う市町村への支援
- ・日本版 PACS の創設と民法改正を始めとした必要な法整備、婚姻を選択しないカップルの子どもへの差別意識の解消につながる啓発活動等について国へ要請（2023、2024、2025）

139 ヤングケアラー支援の充実

- ・市町村モデル事業の実施、支援コーディネーターの配置、子ども向け啓発パンフレットの配布、市町村が主催する研修への外部講師の派遣（2025）、ヤングケアラーが語り合えるサロンの開催（2025）など、ヤングケアラーへの支援と理解の促進

141 子どもが輝く未来基金による子どもの貧困対策の推進

- ・「子どもが輝く未来推進計画（子どもの貧困対策推進計画）」に基づく施策の推進（2025）
- ・児童養護施設入所児童等の自立支援、子ども食堂の開設支援、子ども食堂における子どもの学習支援への補助、子ども食堂への物品等の更新費用の補助（2025）など、「子どもが輝く未来基金」を活用した取組・事業の推進

143 結婚支援事業の積極的展開

- ・出会いサポートポータルサイト「あいこんナビ」の運営
- ・結婚支援センターの運営（2024、2025）
- ・婚活イベントの開催（2023、2024、2025）や市町村主催婚活イベントの開催支援（2024）、民間婚活イベントの開催支援（2023、2024、2025）

151 児童虐待の未然防止や早期発見・早期対応、児童相談センターの体制強化による児童虐待事案への適切な対応、保護した児童の家庭的養護の推進、被虐待児の家族再統合の支援、社会的養護経験者（ケアリーバー）の自立支援

- ・児童虐待の未然防止のため、市町村の子ども家庭相談体制の充実支援
- ・児童相談センターの専門職員の人材確保及び専門性の向上、家族再統合の支援に向けた指導、弁護士との連携による相談体制の強化
- ・里親等委託の推進、児童養護施設等の小規模化・地域分散化・高機能化・多機能化の推進など、家庭的養護の推進
- ・施設入所児童等の意見表明支援の推進
- ・支援コーディネーター、生活相談支援員及び就労相談支援員の配置など、社会的養護経験者（ケアリーバー）等の自立支援
- ・拠点病院である「あいち小児保健医療総合センター」における児童虐待専門医療コーディネーターの配置、拠点病院・中核的な病院、地域の医療機関の連携体制の構築

152 生活困窮、性暴力、DV など困難な問題に直面する女性への包括的支援

- ・「愛知県困難な問題を抱える女性支援及びDV防止基本計画」の策定（2023）
- ・「性暴力救援センター日赤なごやなごみ」の運営支援、救命救急センター等への性暴力対応看護師（SANE）の設置促進、性暴力被害者に対する医療費・法律相談費用等の公費負担など、性犯罪・性暴力被害者支援の充実

159 がん医療を取り巻く状況変化、施設の老朽化を踏まえた「がんセンター」の強化検討

- ・がん医療と研究の現状整理、施設・設備・医療機能の検討など、将来のがんセンターの整備に向けた基本構想調査（2023）を踏まえた「基本構想」及び「基本計画」の策定（2024）
- ・世界最大規模のがんセンター「MD アンダーソンがんセンター」と愛知県がんセン

ターとの連携による、共同研究や人材交流の推進等の具体的な取組の実施
(2024、2025)

162 医療提供・人材育成の拠点づくり、地域医療を担う看護職員育成、医療機器産業の育成など、医療プロジェクトの推進による長寿社会への対応及び医療基盤の整備強化

- ・地域医療支援センターを活用した医師のキャリア形成支援策の充実、女性医師が育児をしながら働くことができる体制整備への支援など、医療人材育成の拠点づくりの推進
- ・へき地医療確保看護修学資金の貸与によるへき地医療機関における看護師の確保促進
- ・愛知県看護研修会館の研修室等整備支援による看護職員育成の拠点づくり促進
- ・電子処方箋を導入する医療機関等への導入費用助成を補助（2024、2025）
- ・あいちロボット産業クラスター推進協議会における開発・実用化・普及の促進、メディカル・デバイス産業振興協議会への参画など、医療機器や福祉用具等の産業育成・強化

169 依存症対策の更なる充実強化

- ・愛知県ギャンブル等依存症対策推進計画（第3期）の策定（2025）
- ・アルコールや薬物に加え、近年のギャンブル等依存症に関する相談件数の増加や、社会問題化するオンラインカジノの影響を踏まえ、早期に診療体制の充実・強化を図るため、多様な依存症に対応できる医師を養成する寄附講座を新たに設置（2025）

171 愛知県認知症施策推進条例に基づく総合的かつ計画的な認知症施策の推進、「あいちオレンジタウン構想」の全県展開・「認知症に理解の深いまちづくり」の推進、認知症医療提供体制の強化、国立長寿医療研究センターとの連携

- ・愛知県認知症希望大使と協働した普及啓発、災害への備えも含めた家族支援（2024、2025）、地域支援に関わる人材の育成・連携の推進、認知症カフェにおける交流の推進など、あいちオレンジタウン推進計画の推進
- ・医療従事者等の認知症対応力向上研修の開催や認知症サポート医の養成
- ・「認知症疾患医療センター」における認知症の専門医療の提供
- ・インディペンデントエイジング 2023 の開催支援（2023）

178 新たな特別支援学校や分教室の設置・検討など教室不足等の解消促進（岡崎特別支援学校の移転、小牧特別支援学校の増築、いなざわ特別支援学校の増築、名古屋市立若宮高等特別支援学校の開設支援、豊田市内での特別支援学校の設置検討、名古屋東部地域での肢体不自由特別支援学校の整備検討）

- ・千種豊学校ひがしうら校舎の設置（2023年4月開校）
- ・岡崎特別支援学校の移転（2024年4月開校）
- ・小牧特別支援学校、いなざわ特別支援学校の増築に向けた整備
- ・名古屋市立若宮高等特別支援学校の開設支援（2024年4月開校）
- ・西三河北部地区での知的障害特別支援学校の設置に向けた整備
- ・名古屋東部地区での肢体不自由特別支援学校の設置に向けた整備

179 医療的ケアのための看護師の拡充、長時間通学や保護者負担軽減のためのスクールバスの整備、特別支援教育における外部専門人材の活用など、特別支援学校で

の幼児児童生徒への支援の充実

- ・特別支援学校の常勤・非常勤看護師の増員、連絡協議会・研修会の開催など、医療的ケアの充実
- ・特別支援学校のスクールバスの増車による長時間通学の解消
- ・特別支援学校へのスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置など、児童生徒の心のケアの充実
- ・外国人生徒等教育支援員の配置や小型通訳機の配備など、外国人等語学支援の必要な幼児児童生徒への対応の充実
- ・名古屋盲学校始め2校へのエレベーターの整備に向けた基本調査（2024）・実施設計（2025）

190 職業訓練や職業教育の充実などによる就労の支援

- ・「あいち障害者雇用総合サポートデスク」の運営や中小企業応援障害者雇用奨励金の支給（2024年度から支給対象を拡大）など、障害者の就労支援の実施
- ・就労支援事業所の整備促進、障害者就労施設の経営改善支援のための研修会の開催、福祉施設からの一般就労への移行を支援する「一般就労相談窓口」の運営など、障害者の就労を支援する職員の知識・技能の向上支援の実施
- ・障害者の新たな仕事創出に向けた企業とのマッチングの実施
- ・名古屋高等技術専門学校及び三河高等技術専門学校における知的障害者対象の訓練、NPO、企業、専門学校等を活用した障害者の態様に応じた訓練、愛知障害者職業能力開発校における障害者対象訓練による、障害者のニーズに対応した職業訓練の実施
- ・企業と連携した職業教育の推進、就労アドバイザーの配置や知的障害特別支援学校への職業コースの設置など、特別支援学校における職業教育の充実強化と就労支援の充実

192 あいちアール・ブリュット障害者アーツ展 10 周年（2023 年）を契機とした障害者芸術文化活動の一層の充実

- ・あいちアール・ブリュット展・関連イベントの開催、障害者支援施設等での出前講座の開催、障害者の芸術文化活動に携わる施設職員等への支援・育成など、障害者芸術文化活動の推進
- ・あいちアール・ブリュット展の 10 周年記念式典や作品展「10 周年記念美術館」の開催、芸術文化センターや県図書館における長期展示の実施など、記念事業の実施（2023）

196 技能五輪国際大会の招致

- ・2028 年大会の開催地に日本・愛知として立候補（2023）、大会招致活動の実施（2024）や招致機運を盛り上げるイベントの開催
- ・日本・愛知開催の決定（2024）
- ・開催機運の醸成（2024、2025）や組織委員会の設立（2025）など、2028 年大会の開催準備

197 技能五輪全国大会・全国アビリンピックの Aichi Sky Expo での連続開催など、技能尊重気運の醸成、モノづくり人材の育成～Aichi Sky Expo を技能者の甲子園に

- ・大会併催イベントや子どもたちへの大会見学支援の実施、選手育成支援など、2023 年度の技能五輪全国大会・全国アビリンピック（愛知県国際展示場「Aichi

- Sky Expo」を主要会場に国等が主催）に向けた取組の推進（2023）
- ・2024年度、2025年度の技能五輪全国大会・全国アビリンピックの連続開催（国等と県の共催）
- ・県アビリンピックの開催
- ・小・中学校、特別支援学校への技能五輪メダリスト等の派遣講座の開催、小・中学生を対象としたロボット製作とプログラミング制御の競技大会の開催など、技能尊重気運の醸成・発展と次代のモノづくりを支える人材の創出促進

203 産業振興の強化による雇用の創出と安定の推進、及び正規雇用の拡大と非正規労働者の処遇改善の促進

- ・「あいち経済労働ビジョン 2021-2025」の推進や次期ビジョンの策定（2025）など、経済労働計画に基づく産業政策と雇用政策の一体的な運営
- ・有期雇用労働者等の処遇の改善に向けて改正された働き方改革関連法の企業への周知、不本意非正規雇用者等に対する研修会や企業説明会の開催（2025）など、正規雇用の拡大と非正規労働者の処遇改善に向けた取組の推進
- ・経済団体、労働者団体等が参画する「カスタマーハラスメント防止対策に関する協議会」の設置・運営（2024）、「愛知県カスタマーハラスメント防止条例」の制定（2025）、普及啓発動画の作成や相談窓口の設置（2025）などによるカスタマーハラスメント防止対策の推進

205 ICTを活用した時間や場所を有効に活用する柔軟な働き方、テレワークの導入・定着の推進

- ・テレワークサポートセンターにおけるテレワークの相談対応や、テレワークに関する各種セミナーの開催（2024、2025）など、テレワークの導入・定着を支援

206 地域経済における人材確保支援（若者・女性・高齢者・就職氷河期世代の活躍促進）

- ・「ヤング・ジョブ・あいち」における就職相談から職業紹介までのワンストップ支援など、若者の就労支援の推進
- ・県内企業で活躍する女性のロールモデル等の情報の若い女性への発信、大学等が主催する就職支援イベントを通じた「あいち女性輝きカンパニー」のPRの実施（2024、2025）など、女性活躍企業の魅力を発信する取組の推進
- ・再就職支援セミナーや中高年齢者向けポータルサイトによる情報発信など、ミドルシニア（中高年齢者）を対象とした就労支援
- ・不本意非正規雇用者等に対する研修会や企業説明会の開催などによる非正規雇用者等の正規雇用化への支援（2025）
- ・新規雇用者の奨学金返還を支援する中小企業等に対する奨学金返還費用の一部補助（2024、2025）、副業・兼業人材を活用する中小企業等に対する経費の一部補助（2025）など、県内中小企業における人材確保を支援
- ・中小企業向け採用支援セミナーの開催、学生等の職業選択の視野を広げるための「業界研究トークセッション」及び「一日職場体験」の開催、合同企業説明会の開催など、中小企業と学生・離転職者等とのマッチング支援
- ・相談対応や専門家による伴走型支援、働く上で必要な日本語研修の実施、合同企業説明会の開催などを行う「あいち外国人材受入サポートセンター」を設置し、外国人材確保に向けた支援を実施（2025）

209 愛知県人権尊重の社会づくり条例（2022 年 3 月制定、4 月施行）の推進を始め、人格と個性を尊重しあいながら支え合い、多様性を認め合う、だれ一人取り残されることのない社会づくりの推進

- ・「あいち人権推進プラン」の策定（2023）や、プランに基づく人権施策の総合的・計画的な推進（2024、2025）
- ・人権施策の推進に関する重要事項についての調査、審議を行う愛知県人権施策推進審議会の開催
- ・人権相談員による一般相談の実施、弁護士による人権問題法律相談の実施、専門機関による性的少数者電話相談の実施（2024、2025）など、人権相談事業の実施
- ・インターネット上の誹謗中傷等の情報収集、被害者の求めに応じた削除申請方法等の助言・支援など、インターネットモニタリングの実施
- ・ファミリーシップ宣誓制度の運用、ポスター等による普及・啓発（2024、2025）

5. 観光あいち・魅力発信

210 新たな「あいち観光戦略」を策定～「ジブリパークのある愛知」を核としたDestinyネーションブランドの確立など、観光振興の取組をさらに戦略的に推進

- ・「あいち観光戦略 2021-2023」に基づく観光振興の推進と「あいち観光戦略 2024-2026」の策定（2023）・推進（2024、2025）
- ・ジブリパークを起点としたモデルコースの紹介、ジブリパーク来園者向け県内観光プログラムの造成・販売促進、「ジブリパークのある愛知」のPRプロモーションの実施など、「ジブリパークのある愛知」を核とした観光振興
- ・観光物産展の開催、SNSによる情報発信、応援企業の募集、地域資源の高付加価値化など、愛知ならではの「ツウ」な魅力の向上、効果的なPR・プロモーションによるあいち「ツウ」リズムの推進
- ・観光関係者や交通事業者等と構築する「愛知観光プラットフォーム」を活用した観光プロモーションの推進
- ・富裕層や個人旅行者をターゲットとした、訪日外国人旅行者向け観光コンテンツの造成・販売（2024、2025）

211 2025 年新体育館（愛知国際アリーナ）開館、2026 年アジア競技大会・アジアパラ競技大会、2027 年度リニア中央新幹線開業等をターゲットとした誘客やイベント等（2025 年ツーリズム EXPO ジャパンなど）の誘致・開催

- ・アジア地域に向けたプロモーションや県内観光施設における多言語表記の整備支援、報道関係者を対象としたエクスカージョンの実施（2025）によるアジア地域からの誘客促進
- ・「ツーリズム EXPO ジャパン 2025 愛知・中部北陸」の開催支援準備（2024）及び開催支援（2025）
- ・第 60 回アジア開発銀行年次総会（2027 年開催）の誘致（2024）、愛知・名古屋開催の正式決定及び支援実行委員会の設立（2025）
- ・2025 年日本国際博覧会（大阪・関西万博）自治体参加催事への出展準備（2024、2025）及び出展（2025）

213 自動車・航空宇宙を始めとする産業観光、及び2023年大河ドラマ「どうする家康」、三英傑、お城、街道等を活用した歴史観光の推進

- ・「サムライ・ニンジャフェスティバル」等の武将観光イベントの開催、「徳川家康と服部半蔵忍者隊」を活用した忍者観光の推進、城郭イベントへの出展、愛知の歴史観光を網羅するポータルサイトによる情報発信（2024、2025）、武将等ゆかりの庭園を活用した周遊観光施策の実施（2025）など、三英傑、お城、街道等を活用した歴史観光の推進
- ・「豊臣秀吉・秀長ゆかりの地」「武将のふるさと愛知」のPR、周遊ドライブマップの作成、滋賀県・奈良県と連携した周遊キャンペーンの実施など、大河ドラマ「豊臣兄弟！」を活用した観光振興（2025）
- ・産業観光施設を巡るスタンプラリーの実施、あいち航空ミュージアムを活用した航空機産業をベースとした産業観光の強化など、産業観光の推進
- ・「食」を含む高付加価値な観光コンテンツの販路開拓、広告支援（2024、2025）など、観光コンテンツの高付加価値化

225 大高緑地始め県営公園へのPARK-PFIなどの民間活力の活用による魅力向上

- ・大高緑地プール跡地への民間活力導入の調整
- ・あいち健康の森公園におけるPARK-PFI事業者の決定（2024）
- ・県営都市公園における民間活力導入の検討

230 国のデジタル田園都市国家戦略構想と呼応した人口問題対策の推進（三河山間地域）

- ・人口問題対策プランとして「愛知県まち・ひと・しごと創生総合戦略2023-2027」の策定（2023）
- ・愛知県人口問題対策本部の開催、愛知県まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議の開催など、総合戦略の推進・進捗管理
- ・愛知県・市町村人口問題対策検討会議の開催（2024、2025）、「農林水産業振興」、「地域交通確保」、「空き家活用」ワーキンググループの開催（2024、2025）、「地域産業振興」ワーキンググループの開催（2025）など、人口問題対策が特に必要な地区のある市町村等と連携した人口問題対策の推進
- ・「あいち空き家活用広域マッチングプラットフォーム」による、市町村を跨ぐ相談支援の実施（2025）
- ・地域交通の確保に向けて、公共ライドシェアの立上げや、地域交通に取り組む人材の育成を支援（2025）
- ・外部人材と地域とのマッチング体制の整備など、小規模高齢化集落への支援、三河山間地域のなりわい・ひとづくりの推進
- ・ワーケーション等の実証実験など、三河山間地域の関係人口の拡大に向けた取組の推進

6. 文化・スポーツの振興

236 国際芸術祭の開催と発信力の強化

- ・芸術監督の選任（2023）、テーマ・コンセプトの決定（2023）、企画概要の決定（2023）、出品作家の選定（2024）、展示計画の作成（2024）、公演内容の決定

(2024)、出品作家全 61 組及びプログラムの全体概要の発表 (2025) など、2025 年の国際芸術祭の開催に向けた準備

- ・国際芸術祭連携事業である地元芸術大学との連携事業（アートラボあいち）の実施や、参加アーティストによる巡回展示の実施 (2025) など、国際芸術祭連携事業の実施

237 愛知の文化芸術の担い手と支え手双方の育成・拡大、及び子供が芸術文化に親しむ機会の拡大

- ・文化活動事業費補助金や、県営住宅等に併設された空き店舗を活用して若手芸術家向けにアトリエを整備・提供するアーティスト活動支援事業の実施 (2025) によるアーティストや文化芸術団体等への支援
- ・名古屋市と連携しての国際アニメーション映画祭の開催支援 (2025)

238 愛知芸術文化センターの芸術創造・発信機能の一層の強化と愛知県陶磁美術館の活性化

- ・質の高い舞台芸術公演や美術展の開催、先駆的・実験的な芸術活動の展開、民間アイデアの活用によるパイロット事業の実施 (2023、2024)、愛知県文化施設活性化基本計画 (2023) に基づく、愛知芸術文化センターの建物管理及び愛知県芸術劇場への民間活力の導入の検討 (2024)・コンセッション方式の導入に向けた準備 (2025)、愛知県美術館の地方独立行政法人化の検討 (2024)・地方独立行政法人制度の導入に向けた準備 (2025) など、愛知芸術文化センターの充実・強化
- ・SNS を活用した効果的な情報発信、来館のきっかけとなるイベントの実施、展示事業の充実、民間アイデアの活用による施設活性化に向けたパイロット事業の実施 (2023、2025)、愛知県文化施設活性化基本計画 (2023) に基づく、愛知県陶磁美術館の地方独立行政法人化の検討 (2024)・地方独立行政法人制度の導入に向けた準備 (2025) など、愛知県陶磁美術館の活性化
- ・美術品等共同収蔵庫の整備推進 (2025)

243 愛知県新体育館（愛知国際アリーナ）の整備（2025 年夏）～アジア最大級のスマートアリーナを活用した国際的なスポーツ、エンタメ、イベントの招致～

- ・2025 年 7 月のグランドオープンに向けた建設工事の推進 (2025 年 3 月竣工・引渡し)
- ・開業準備に関する事業者との協議、名称を「IG アリーナ」に決定 (2023)
- ・IG アリーナオープニングイベント（開業式典等）の開催 (5 月 31 日、6 月 1 日) (2025)
- ・IG アリーナグランドオープン (7 月 13 日) (2025)

244 あいちトップアスリートアカデミーの開講など 2026 年アジア競技大会・アジアパラ競技大会に向けた地元アスリートの育成

- ・トップアスリートアカデミーの実施による、国際競技大会で活躍できる地元選手の発掘・育成
- ・遠征、競技用具購入等の助成など、愛知ゆかりのオリンピック・アジア競技大会等強化指定選手への支援
- ・大学が所有するスポーツ施設を活用した実技講習会の開催や講師派遣など、大学との「体育・スポーツ振興に関する協定」による取組の推進
- ・キャリア支援講座等の開催やマッチング支援ウェブサイトの構築によるアスリー

トのキャリア形成支援（2025）

245 第 20 回アジア競技大会・第 5 回アジアパラ競技大会の開催（2026 年）、テスト大会の招致、大会レガシーの継承

- ・大会計画（競技、輸送、警備、宿泊、チケット等）の作成、競技会場仮設整備の基本設計、実施設計（2025）、市町村が所有する競技施設の改修支援、アジアパラ競技大会の開催都市契約締結（2023）、アジア・アジアパラ競技大会マスコットの決定（2024）、選手や関係者等の運行管理体制・警備運営体制の構築（2025）、ボランティア採用者への研修の実施（2025）など、第 20 回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）・第 5 回アジアパラ競技大会（2026/愛知・名古屋）の開催準備
- ・テストイベントの実施（2025）
- ・大会を活用した「地域活性化ビジョン」の推進や、大会開催を契機とした宿泊事業者のバリアフリー化の改修等への支援（2024、2025）、市町村や学校が実施するアジア各国・地域との交流を推進する取組への支援（2025）などによる大会レガシーの継承
- ・杭州大会閉会式の大会旗引継式（フラッグハンドオーバーセレモニー）における次回開催都市「愛知・名古屋」の魅力発信（2023）

7. あいちのグローバル展開

252 友好・協力関係にある国・地域・機関との交流の推進（アメリカ、中国・アジア、フランス・ドイツ・ベルギー・イスラエル等）、特に関係を深めることが望まれる国・地域・機関を対象とした新たなパートナーシップの構築

- ・オーストラリア・ビクトリア州、中国・江蘇省、広東省、山東省、ベトナム、タイ、韓国・京畿道、アメリカ・テキサス州、ワシントン州、インディアナ州、ケンタッキー州、ベルギー3 地域、シンガポール、インド、インドネシア、フランス・オクシタニー地域圏、オーベルニュ・ローヌ・アルプ地域圏、イスラエル、ポルトガル、スペインなどとの交流の推進
- ・中国 3 大学（清華大学、上海交通大学、浙江大学）との交流の推進

258 外国人県民が安心して暮らせる環境の整備（地域における日本語教育の推進、多文化子育てサロンの設置促進、あいち医療通訳システムの運営、災害時の多言語支援センターの設置運営等）

- ・あいち外国人材適正受入れ・共生推進協議会、同生活環境ワーキンググループ、同日本語学習・日本語教育ワーキンググループの開催
- ・地域における初期日本語教育モデル事業の実施や「あいち外国人の日本語教育推進会議」の開催、あいち地域日本語教育推進センターの運営、「外国人県民による多文化共生日本語スピーチコンテスト」の開催など、地域における日本語教育の推進
- ・多文化子育てサロン設置促進など、外国人の子育て支援の充実
- ・外国人創業希望者の在留資格要件の猶予と事業展開支援、「あいち外国人起業&経営支援センター」の運営など、外国人の創業活動の促進及び外国人経営者の支援

261 外国人の子どもの教育の充実（小中学校における日本語教育適応学級担当教員の配置、プレスクールの拡大、日本語教室の運営費等の助成、外国人児童生徒の就学支援活動の支援等）

- ・地域日本語教育ネットワーク会議の開催、日本語学習支援基金を活用した外国人の子どもの学習支援、若者・外国人未来塾の実施など、日本語教育の総合的な支援の実施
- ・日本語教育適応学級担当教員の配置、語学相談員の派遣、日本語初期指導教室及びプレスクールの運営支援など、公立小中学校における外国人児童生徒への教育の充実
- ・外国人生徒教育支援員や日本語教育支援員の配置、小型通訳機の配備、就労アドバイザーの配置など、県立学校における外国人幼児児童生徒への支援
- ・外国にルーツのある生徒の能力、可能性を引き出す中高一貫教育の導入

8. 安全・安心なあいち

263 愛知県基幹的広域防災拠点の整備（2025 年度）～大規模災害時に全国から人員や物資等を円滑に受け入れ、災害応急活動を後方支援～

- ・PFI 事業アドバイザー業務の委託
- ・用地取得完了に向けた物件調査・用地交渉の実施
- ・敷地造成工事、既存のライフラインの移設・撤去工事の実施

264 ペット同行避難の環境づくりの推進（ペット同伴者が安心して避難できる専用施設の事業化可能性検討）

- ・ペット同伴者専用避難施設の検討
- ・避難所へのペット受入資機材の整備補助やペット同行の避難訓練のモデル的な実施による市町村への支援（2024）
- ・市町村向けの「ペット同行避難対策推進マニュアル」の作成、街頭キャンペーンの実施（2025）

268 ゼロメートル地帯における広域的な防災拠点の整備促進（木曽三川下流域 2 か所、西三河南部、東三河南部）

【木曽三川下流域】

愛西市旧永和荘跡地（2023 年 3 月供用開始）

- ・防災関係機関との連携による運用訓練の実施（2023、2024）
- 弥富市海南こどもの国
- ・実施設計（2023）、防災倉庫建築工事（2024、2025）

【西三河南部】

西尾市行用町（2025 年 3 月供用開始）

- ・防災関係機関との連携による運用訓練の実施（2024、2025）

【東三河南部】

豊橋市国道 23 号豊川橋料金所跡地

- ・用地測量（2023）、実施設計（2024）、地盤改良（2025）、防災倉庫整備（2025）

290 高齢者等に対する交通安全教育などの充実

- ・「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」の周知、児童・生徒等及び高齢者のヘルメット購入費助成、ヘルメット着用促進事業の実施、自転車交通安全教育の推進、SNSを活用したヘルメット着用の促進（2024、2025）、自転車の交通違反取締りに関するルールブックの作成・周知（2025）など、自転車の安全利用の促進
- ・啓発チラシや事業者等と連携した実車講習による特定小型原動機付自転車の交通ルールの周知と安全利用の促進（2023、2024、2025）
- ・ドライバーマナー向上を呼び掛けるポスター、リーフレット、マグネットシート等啓発資材の制作・配布（2025）、「ながらスマホ」「あおり運転」等危険運転防止キャンペーンの実施など、法令違反・悪質危険運転の根絶に向けた取組の推進
- ・交差点の事故防止に向けた交通安全スリーS運動、ハンド・アップ運動等の啓発活動の実施、「歩行環境シミュレータ」を活用した参加体験型の出張講座の開催、徐行や一旦停止を促す広報啓発活動の実施（2024、2025）など、交差点の交通事故防止に向けた取組の推進

292 警察署（田原、豊田、愛知、蟹江、蒲郡、西尾、津島、豊川、岡崎、半田、一宮、瀬戸）等の建替え等による警察力の強化

- ・地域の治安や災害時の活動拠点としての機能強化のため、老朽化や狭隘化等が生じている警察署の建替えを推進

293 大府警察署（仮称）新設に向けた取組推進

- ・知多半島における住民の利便性の向上及び災害時の活動拠点の役割を果たす大府市内への警察署の新設に向けた準備

9. 「環境首都あいち」

307 EV・PHV・FCVの導入促進など運輸部門における温室効果ガスの排出削減

- ・先進環境対応自動車（FCトラック（2024年度から拡充）及びFCバスの補助対象者に市町村等を追加（2025年度から拡充））を導入する中小企業者、旅客・貨物運送事業者等への支援、FCトラック・FCバスの使用者に対する燃料費の一部補助（2025）など、EV・PHV・FCVの普及促進
- ・幅広く横展開するためのモデルスキームの構築や、県内の荷主、運輸事業者等のFCトラックの導入需要の掘り起こしなどによる「物流脱炭素化プロジェクト」の推進（2024、2025）

308 住宅の省エネ性能向上、住宅用地球温暖化対策設備の導入促進、ZEH（ゼロエネルギーハウス）普及促進など家庭における温室効果ガスの排出削減

- ・スマートハウス、ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）に関する設備など、住宅用地球温暖化対策設備の導入を市町村との協調により支援
- ・住宅の省エネ性能向上を促す「あいちエコフレンドリー住宅ガイドブック」の策定（2023）及び周知（2023、2024、2025）
- ・既存住宅の躯体等の断熱改修や省エネ設備の導入等への市町村との協調補助による民間住宅の省エネ改修の促進（2024、2025）

311 県の行政活動を通じたカーボンニュートラルの推進 (ESG 債 (グリーンボンド等)、県有施設への太陽光発電導入・県産木材利用推進、公用車ゼロエミッション化推進等)

- ・ 使途を環境改善効果のある事業に限定した県債 (グリーンボンド) の発行
- ・ 「木材利用の促進に関する基本計画」の推進、非住宅建築物の木造化普及啓発マニュアルの作成 (2024)、あいち木造・木質化サポートセンターによる相談対応の実施 (2023、2024、2025)、県産木材を利用した PR 効果の高い民間施設等の支援、「街区全体で統一的に木造・木質化を図るまちづくり」プロジェクトの支援、豊田加茂総合庁舎 (2026 年度供用開始) における PR コーナーの設置 (2025)、東三河総合庁舎の木質化 (2025) など、「あいち認証材」の利用促進
- ・ 公用車として導入した EV・PHV・FCV を活用した普及啓発の推進
- ・ 老朽化した住宅の建替えによる省エネルギー性能の高い県営住宅の供給

318 2030 年を目標とする SDGs の達成に向けた取組の加速

- ・ 愛知県 SDGs 未来都市計画 (第 3 期) の策定 (2024)・進行管理 (2025)、あいち SDGs パートナーズ交流会の開催 (2023、2024、2025)、SDGs AICHI EXPO の開催 (2023、2024)、SDGs 子ども・ユースフェアの開催 (2025) など、SDGs 達成に向けた取組の推進
- ・ エシカル消費ポータルサイトによる情報発信、エシカル消費参加体験型イベントの開催、「エシカル×あいち」メンバーの募集など、エシカル消費の普及啓発

10. 地方分権・行財政改革の推進

323 自立した持続可能な中京大都市圏の実現と分権型社会の構築、全国知事会、中部圏知事会、名古屋市との連携・機能強化

- ・ 2040 年頃の社会経済を展望し、2030 年度までの重点的な政策の方向性を明らかにする「あいちビジョン 2030」の推進
- ・ 中京圏構想に向けた名古屋市との連携など、中京大都市圏づくりの推進

328 「あいち行革プラン 2020」(2020～2024 年度)の推進、次期行革大綱 (2025～2029 年度)の策定 (DX の推進、人口問題対策、更なる民間活力の活用等を軸に)

- ・ 「あいち行革プラン 2020」の推進 (2023、2024) と次期行革大綱の策定 (2024)
- ・ 「あいち行革プラン 2025」の推進 (2025)

332 行政 DX の推進による効果的・効率的な業務の遂行及びキャッシュレス化などによるサービス提供の強化

- ・ 行政手続のオンライン化を推進
- ・ キャッシュレス決済可能な行政手続を拡充し、キャッシュレス決済の利用を推進
- ・ 県行政における生成 AI 利活用に係るガイドラインの策定 (2023) や全庁的な導入及び活用促進を図る取組の実施 (2024、2025) など全庁共通業務のデジタル活用による業務改善
- ・ 行政課題に対し、デジタル技術を活用した解決策を民間企業等から募集・マッチングし実証実験を行う「AICHI X TECH」の実施、愛知県図書館ウェブサイトへの AI チャットボットの導入、あいち航空ミュージアムへのデジタル展示の導入な

ど、県行政の DX の推進

- ・新規システムのクラウドサービスの利用及び既存システムのクラウドサービスへの移行を順次検討し、パブリッククラウドの活用を推進
- ・建築計画概要書等の電子化や台帳システムの構築、資料検索システムの開発など、建築 DX の推進（2025）

東三河の振興

342 東三河県庁を軸とした連携の強化と「東三河振興ビジョン 2030」（2022～2030 年度）の推進

- ・重点プロジェクトの進捗管理や事業計画の策定、主要プロジェクト推進プランの進捗管理を行う東三河ビジョン協議会の開催
- ・東三河地域内外の関係人口の創出と移住・定住の促進、「歴史・文化」、「スポーツ」等をテーマとする広域観光プロジェクトの実施、森林資源の新たな循環利用の促進（2024、2025）など、東三河 8 市町村及び東三河広域連合等との連携による「東三河振興ビジョン 2030」の推進
- ・2024 年度から推進する重点プロジェクト「東三河森林ルネッサンスプロジェクト」の事業実施（2024、2025）

344 STATION Ai パートナー拠点「東三河スタートアップ推進協議会」を中心とした産業イノベーションの創出

- ・STATION Ai パートナー拠点第一号として位置付けた「東三河スタートアップ推進協議会」に統括マネージャーを配置し、スタートアップ・エコシステムの形成を推進

349 豊かな自然を始め地域資源を活用した東三河の魅力の創造・発信、及び広域観光エリアとしての魅力の向上・発信、スポーツの振興

- ・観光関係者や交通事業者等と構築する「愛知観光プラットフォーム」を活用した観光資源の旅行商品化の促進
- ・豊橋市が実施する豊橋市新アリーナの整備・運営に向けた取組への支援

357 東三河高校教育プロジェクトによる特色ある学校づくりの推進

- ・豊橋工科高校への夜間中学併設
- ・時習館高校への併設型中高一貫校導入
- ・御津あおば高校の全日制単位制普通科への改編、昼間定時制併置
- ・三谷水産高校実習船「新愛知丸」の建造
- ・渥美農業高校であつみ次世代農業創出プロジェクトを実施
- ・豊橋工科高校への夜間中学併設、時習館高校への併設型中高一貫教育導入、御津あおば高校の全日制単位制普通科への改編と昼間定時制・通信制の併置、渥美農業高校でのあつみ次世代農業創出プロジェクトの実施、三谷水産高校実習船「新愛知丸」の建造（2025 年 5 月竣工）、田口高校での森林・林業の魅力伝道事業の実施（2025）など、東三河高校教育プロジェクトの推進